

科目名： 実習指導（講義1単位）		担当教員名：石塚智美 担当形態：単独	使用テキスト：出版社名・テキスト名 わかば社：幼稚園・保育所実習パーフェクト
<b>授業到達目標及びテーマ：</b> 教育実習は、観察・参加・実習という方法で教育実践に関わることを通して、教育者としての愛情と使命感を深め、将来教員になるうえでの能力や適性を考えるとともに課題を自覚する機会である。 一定の実践的指導力を有する指導教員のもとで体験を積み、学校教育の実際を体験的・総合的に理解し、教育実践並びに教育実践研究の基礎的な能力と態度を身に付ける。			
<b>授業の概要：</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育実習についての目的や役割・保育内容を理解し、実習に際しての計画と記録及びまとめを学習する。</li> <li>・事前指導や事後指導について学習しながら課題を確認し、指導案作成のポイントを身に付ける。</li> </ul>			
回	項目	内容	
1	オリエンテーション及び 教育実習報告会についての討議	冒頭では授業の概要について説明を行う。 夏季休業の課題である2年生による教育実習報告会についてのレポート提出をし、講師の講評と共に感想を述べ、グループ討議をする。	
2	実習の目的・意義・期間と方法及び 幼稚園教育の役割と機能の理解	実習についての目的や遵守すべきことを理解する。 幼稚園教育の役割や機能を理解しながら「生きる力の基礎を形成」するための保育内容を理解する。	
3	幼稚園の一日の生活の流れと 保育内容の理解	幼稚園と保育所の一日の流れの違いや保育の内容を理解する。	
4	子どもとの関わり方について	園生活での子どもの実態を知り、各年齢の発達を踏まえながら子どもと関わり方について理解する。また、子どもが喜ぶ保育実技についても実践する。	
5	事前指導・事後指導について	実習の心構えや実習生に求められるものまた、実習課題の立て方について学習する。また、守秘義務について理解する。	
6	模擬保育を通して指導案作成（1）	3歳児の指導計画の意義を学び、実際に実践を通して指導案作成を考える。	
7	模擬保育を通して指導案作成（2）	4歳児の指導計画の意義を学び、実際に実践を通して指導案作成を考える。	
8	模擬保育を通して指導案作成（3）	5歳児の指導計画の意義を学び、実際に実践を通して指導案作成を考える。	
<b>参考書・参考資料等：</b> 幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領、教育・保育実習総論、幼稚園・保育園の指導計画はこう立てよう、保育者の常識67等			
<b>学生に対する評価方法：</b> 期末試験、レポート提出、授業態度等を総合的に評価する。			
【石塚智美】 泉川保育園 元保育士			